

《アンケート》

このアンケートでは、10代の「性」（男女関係、セックスなど）についての質問をします。
 各質問には、今のあなたの状況や考えに近い回答を選び、その数字や記号を□内に記入してください。
 「あてはまるものすべて」の質問には□内に、あてはまる数字をすべて記入してください。
 また、() 内には○か×を記入して下さい。その他の() には、自由に意見を記入してください。

I. はじめに、あなたやお家のこと、学校のことなどについて答えてください。

1. あなたの性別を教えてください。

- ①男子
②女子

2. あなたの学年と年齢を教えてください。あてはまる学年を選び□内にその数字を記入し、年齢も記入してください。

- ①中学1年生 ②中学2年生 ③中学3年生
 ④高校1年生 ⑤高校2年生 ⑥高校3年生
 ⑦その他

学年	年齢

3. あなたは家にいる時、気分が落ち着き、いごちが良いですか？

- ①非常に良い
②少し良い
③あまり良くない
④まったく良くない

4. 家庭で、「性」について、話し合うことがありますか？

1) 母親と「性」について話し合うことがある。

- ①よくある
②ときどきある
③あまりない
④まったくない

2) 父親と「性」について話し合うことがある。

- ①よくある
②ときどきある
③あまりない
④まったくない

5. 普段、友達と「性」について、話合うことがありますか？

- ①よくある
②ときどきある
③あまりない
④まったくない

6. 友達の性の経験は自分より進んでいる（キスやSEXの経験がある）と感じますか？

- ①進んでいる
- ②同じくらい
- ③自分より遅れている
- ④わからない

7. 学校で「性」に関する授業や指導がありましたか？

- ①はい
- ②いいえ → 「いいえ」と答えた方は 10へ進んでください。



「はい」と答えた方は 8へ進んでください。

8. それは小学校、中学校、高等学校のうちどこでしたか？あてはまるものをすべて選んでください。

- ①小学校
- ②中学校
- ③高等学校

9. どんな内容でしたか？あてはまるものをすべて選んでください。

- ①男女の体のしくみ
- ②男女の性行動の違い
- ③月経について
- ④精通について
- ⑤SEXについて
- ⑥避妊法について
- ⑦性感染症（IIVも含む）について
- ⑧異性との交際の仕方
- ⑨愛とは何か
- ⑩マスターベーション
- ⑪妊娠について
- ⑫出産について
- ⑬人工妊娠中絶について
- ⑭男女の平等・差別について
- ⑮性の不安や悩みの相談に乗ってくれるところ
- ⑯覚えていない
- ⑰その他()

10. 「性」に関することで、特に知りたい内容を5つ選んでください。

- ①男女の体のしくみ
- ②男女の性行動の違い
- ③月経について
- ④精通について
- ⑤SEXについて
- ⑥避妊法について
- ⑦性感染症（IIVも含む）について
- ⑧異性との交際の仕方
- ⑨愛とは何か
- ⑩マスターベーション
- ⑪妊娠について
- ⑫出産について
- ⑬人工妊娠中絶について
- ⑭男女の平等・差別について
- ⑮性の不安や悩みの相談に乗ってくれるところ
- ⑯知りたいことはない
- ⑰その他()

--	--	--	--	--

Ⅱ. 「性」に関する知識についての質問です。

11. 「妊娠」しないようにする方法を「避妊^{ひにん}」といますが、その方法の一つである「コンドーム」の使い方で正しいと思うものには○、まちがっていると思うものには×をつけてください。

- () ①コンドームは、ペニスの先にかぶせるだけでよい。
- () ②コンドームは射精する直前につけるとよい。
- () ③1個のコンドームを何回か使っても良い。
- () ④コンドームは女性に挿入する前、勃起したら付ける。
- () ⑤コンドームは2枚重ねで使用できる。

12. 次の行動で確実に「妊娠しない」と思うものには○、まちがっていると思うものには×をつけてください。

- () ①前の生理日と次の生理日の中間くらいにSEXすると妊娠しない。
- () ②SEXの相手がたくさんいると妊娠しない。
- () ③SEX後に、陰部を何かの液体で洗浄すると妊娠しない。
- () ④生理終了直後のSEXは妊娠しない。

13. 性感染症 (SEXでうつる病気、クラミジア・淋病^{りんびょう}・梅毒^{ばいどく}・尖圭^{せんけい}コンジローム・性器ヘルペス・エイズ) について、正しいと思うものに○、まちがっていると思うものに×をつけてください。

- () ①症状 (おりものが多くなる・おしっこの時に痛いなど) がでないことが多い
- () ②子どもが欲しいときに、子どもができなくなることもある
- () ③キスだけでもうつることがある
- () ④コンドームは性感染症の予防に効果がある
- () ⑤治療は感染した人だけではなく、SEXの相手と一緒にやる必要がある
- () ⑥エイズ以外の感染症があると、エイズに感染する割合が高くなることもある

Ⅲ. 「性」に関する経験や行動についての質問です。

14. あなたは、SEXの経験がありますか? 「ある」と言う人は、初めて経験した学年を教えてください。

①経験したことがない → ①と答えた方は **18** に進んでください。

②中学入学前 ③中学1年生

④中学2年生 ⑤中学3年生

⑥高校1年生 ⑦高校2年生 → ②~⑨と答えた方は **15** へ進んでください。

⑧高校3年生 ⑨高校卒業してから

15. 今までに何人くらいの人とSEXの経験がありますか?

- ①1人
- ②2~3人
- ③4~6人
- ④7~10人
- ⑤10人以上

IV. 「性」の相談についての質問です。

20. 「性」に関することで、困ったときや知りたいことがある時は誰に相談しますか？

相談する回数の多い順に教えてください。

- ①母親
- ②父親
- ③兄弟
- ④同性の友達
- ⑤異性の友達
- ⑥学校の先生
- ⑦保健室の先生
- ⑧そのほかの人（
- ⑨誰にも相談しない

1 番目	2 番目	3 番目
------	------	------

21. 「性」に関することで、次のような相談機関を利用したことがありますか？

ある人は、あてはまるものをすべて選んでください。

- ①電話相談
- ②保健所
- ③思春期外来
- ④産婦人科外来
- ⑤学校の保健室
- ⑥その他（
- ⑦相談したことはない

22. 「性」について専門に相談するところがあったらいいと思いますか？

- ①はい
- ②いいえ → 「いいえ」と答えた方は 24 へ

↓
「はい」と答えた方は 23 へ

23. 相談に行ってみたい（相談してみたい）と思う相談室の方法・場所・開催日・相談員について、あてはまるものをすべて選んで下さい。

1) どんな相談方法がいいですか？

- ①電話で相談する。
- ②直接、相談に行く。
- ③相談員が学校に来てくれる
- ④その他（

2) 相談場所がどこにあるといいですか？

- ①学校の中にある。
- ②駅・ショッピングセンターの近くにある。
- ③産婦人科や泌尿器科の病院の中に設置されている。
- ④「思春期外来」という、10代の人のための専門病院。
- ⑤その他（

3) 相談室（電話相談）の開催日はいつがいいですか？

- ①毎日開かれている。
- ②曜日と時間が決められている（例えば、平日は午後3時頃からなど）。
- ③土曜日・休日（夏休み・冬休みも）のみ開かれている。
- ④その他（

4) 相談員はどんな人がいいですか？

- ①学校の先生（保健室の先生）が良い。
- ②専門の職員（相談員）が良い。
- ③医師や助産師・看護師さんが良い。
- ④自分たちに年齢の近い友達のような人が良い（※ピア・サポーター）。
- ⑤その他（

)

※ピア・サポーターとは？

ピアとは仲間・友人を意味し、仲間同士で相談し合うことをいいます。性や避妊について正しい情報を提供し、自分たちで責任が持てる性行動を選択できるようサポートする年齢の近い若い人たちのこと。

24. ピア・サポーターによる「性」の講座を受けてみたいと思いますか？

- ①はい
- ②いいえ
- ③わからない

V. 人工妊娠中絶についての質問です。

25. あなたは人工妊娠中絶をしたことがありますか？

- ①ある
- ②ない

26. 人工妊娠中絶について友達から相談されたことがありますか？

- ①ある
- ②ない→「ない」と答えた方は最後へ

「ある」と答えた方は 27 へ

27. どのような相談でしたか？相談された内容を3つまで選んでください。

- ①妊娠したがどうしたらよいか？
- ②中絶するかどうか迷っている。
- ③中絶する費用はいくらかかるか？
- ④中絶費用がない。
- ⑤誰に相談したらいいのか？
- ⑥中絶するにはどこにいけばよいか？
- ⑦中絶のための入院はどのくらい必要か？
- ⑧将来、子どもが産めるのか？
- ⑨中絶後は普通どおり生活ができるのか？
- ⑩その他（

)

--	--	--

「性」に関することで、何か悩みや意見があれば、自由に書いてください。

～ご協力ありがとうございました。～

資料3 高橋佳子、益田早苗他：青森県における10代男女の性意識・性行動の実態と課題
(第1報) 一性交・人工妊娠中絶の経験を中心に、第45回日本母性衛生学会発表ス
ライド

**青森県の10代男女の性意識・性行動の
実態と今後の課題 (第1報)
一性交・人工妊娠中絶の経験を中心に一**

青森県立保健大学

○高橋佳子、益田早苗、玉熊和子、長澤一磨¹⁾、
佐藤愛、中村由美子、溝江好恵²⁾、新道幸恵

1)青森県総合健診センター、2)ハローベビー助産院

研究目的

青森県は、10代の人工妊娠中絶実施率が全国
に比べて高い。



10代の女性の人工妊娠中絶を減少させるための
対策を検討するため、10代男女の性意識・性行
動の実態を把握することを
目的とした。

研究方法

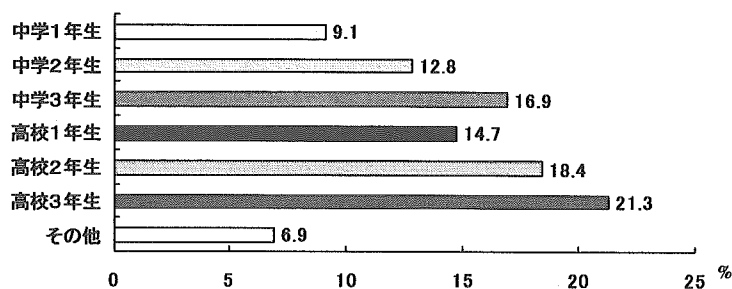
1. 対象:青森県内の10代男女
2. 方法:自己記述式質問紙を街頭で直接配布し、郵送にて回収。
3. 期間:平成15年12月28日～平成16年2月15日
4. 内容:家庭での性の話題の有無、性教育の受講の有無、性についての知識の有無、性行動や体験、性の相談者や機関など。
5. 分析方法:統計ソフトSPSS10.0Jを用いて集計。

研究結果

回収率25.6%(配布数1,250部、回収数320部)

1. 対象属性:男子12.5%(40人)、女子87.5%(280人)

平均年齢 15.8(±1.8)歳



2. 性交経験・性意識について

1) 性交経験の有無

有り: 36.3% (116人)

男子55% (22人)、女子34.3% (94人)

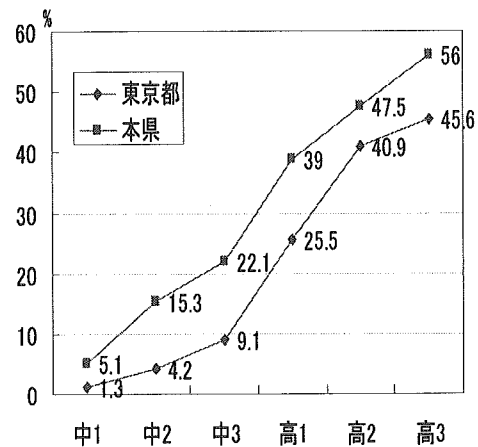
無し: 61.9% (198人)

2) 女子の学年別性交経験率

学年別	性交経験率(%)
中学1年生	3.7
中学2年生	19.4
中学3年生	15.2
高校1年生	38.1
高校2年生	45.3
高校3年生	55.9
その他	29.4

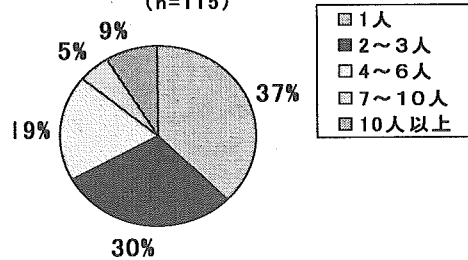
3) 初交経験累積率(高校3年生女子)

東京都幼稚園・小・中・高・心障性教育研究会：
2002年調査と青森県との比較



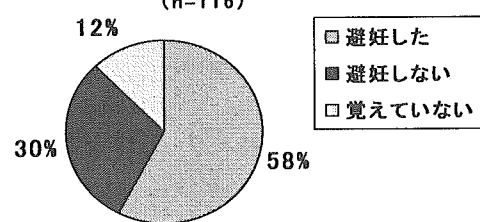
4) 過去に何人とSEXしたか？

(n=115)



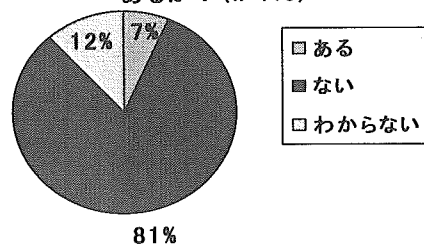
5) 初めてのSEXで避妊したか？

(n=116)



6) 性感染症にかかったことがあるか？

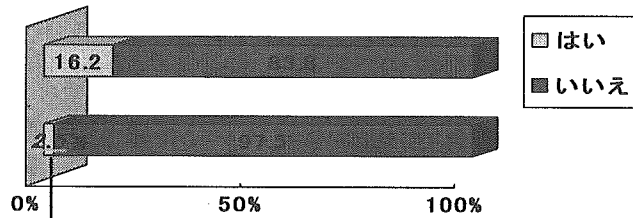
(n=116)



7)人工妊娠中絶について

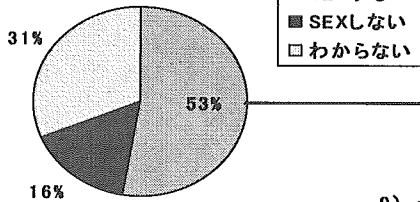
友達から中絶について相談されたことあり(n=296)

人工妊娠中絶の経験は？(n=314)



※内訳: 中学生4人、高校生3人、その他1人

8)好きな人からSEXを求められたら？(n=316)

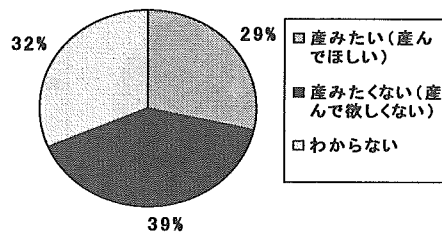


SEXを求められたら？

	SEXする	
SEXの経験あり群	79.6%	***)
SEXの経験なし群	38.4%]

***P<0.001

9)今、妊娠したら子どもを産みたいか？(n=315)



考察

青森県において、

- ・高3女子の初交経験累積率が、中学1年から高校3年にかけて東京都内の調査に比べて高かった。⇒ 青森県では東京都に比べて性交経験の開始が早い。
- ・過去に複数の相手と性交経験を持つものの割合が高く、4人以上と答えた者も3割あった。⇒ 中学生からの望まない妊娠や性感染症罹患のリスクがきわめて高い状況にある。
- ・初交時の避妊実行率は6割弱で、避妊が徹底されないまま性交が行われている。
- ・好きな人から性交を求められたらについては、性交経験あり群の方が性交経験なし群よりも、「応ずる」と回答したものが有意に多かった。
⇒ 性交を経験することにより性行動が更に活発化し、複数の相手との性交経験につながる。



特に中学生からの望まない妊娠や性感染症予防策の徹底が緊急の課題である。

結論

青森県10代男女の実態として、

- ・中学1年から高校3年までいずれの学年においても初交経験累積率が高い(高校3年生女子)。
- ・過去に複数の相手と性交経験をもつものが多い。
- ・人工妊娠中絶経験者に中学生の割合が高い。
- ・性交経験により性行動が更に活発化する。

ということが明らかとなった。



中学生からの望まない妊娠や性感染症予防策の徹底が緊急の課題である。

資料 4 玉熊和子、益田早苗他：青森県の 10 代男女の性意識・性行動の実態と今後の課題
(第 2 報) 一性の指導内容、性の相談へのニーズー、第 45 回日本母性衛生学会発表ス
ライド

青森県の10代男女の性意識・性行動の 実態と今後の課題 (第2報) ー性の指導内容、性の相談へのニーズー

青森県立保健大学

○玉熊和子、益田早苗、高橋佳子、中村由美子、
佐藤愛、長澤一磨¹⁾、溝江好恵²⁾、新道幸恵

1) 青森県総合健診センター、2) ハローベビー助産院

I. 研究目的

青森県内における10代の人工妊娠中絶実施率が全国に比べて高いことから、10代の女性の人工妊娠中絶を減少させるための対策を検討するために、10代男女の性に関する指導内容および性の相談へのニーズを明らかにすることを目的とした。

Ⅱ. 研究方法(第1報に準じる)

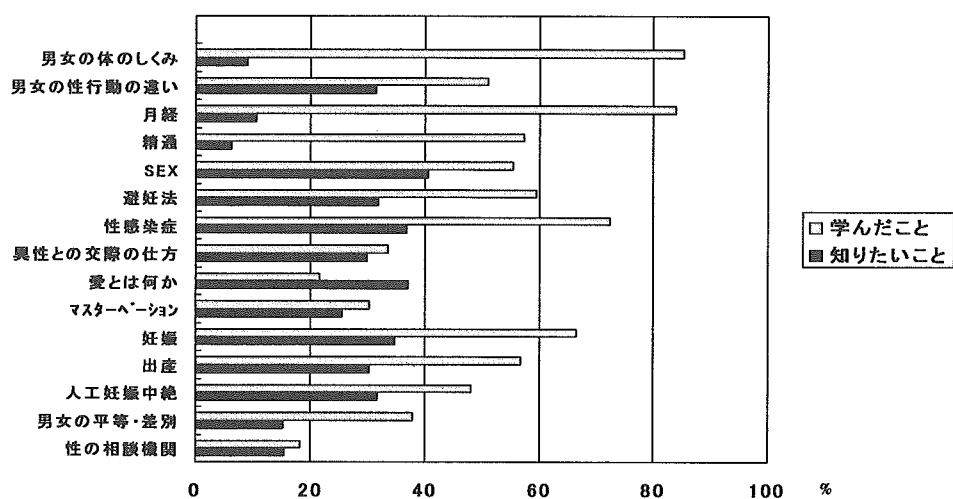
1. 対象:青森県内の10代男女1250人
2. 方法:自己記述式質問紙を街頭で直接配布
回答後郵送にて返送
3. 期間:平成15年12月～平成16年2月
4. 内容:性教育受講の有無、性教育で学んだこと
・今後知りたいこと、性の相談機関の利用
の有無、希望等
5. 分析方法:統計ソフトspss10.0jにて集計

Ⅲ. 研究結果

回収数320部(回収率25.6%)であり、
対象属性は第1報と同様である。

1. 学校における性の授業や指導の有無
性教育・性の指導あり→94.4%(302人)
中学校 86.3%
高等学校 84.2%

2. 性について学んだこと、知りたいこと



3. 性の相談について

1) 「性」に関することで相談をする人

1番目に相談する人

同性の友達 (中学生<高校生)
69.1%

2番目に相談する人

異性の友達
23.2%

養護教諭 (中学生>高校生)
22.1%

3番目に相談する人

母親
17.7%

※「誰にも相談しない」 7.9% (25人)

2)「性」に関する相談機関の利用

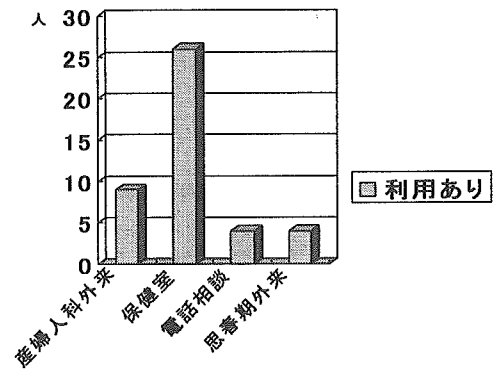
利用なし→75.9%

利用あり→13.5%

3)「性」の専門相談期間の希望

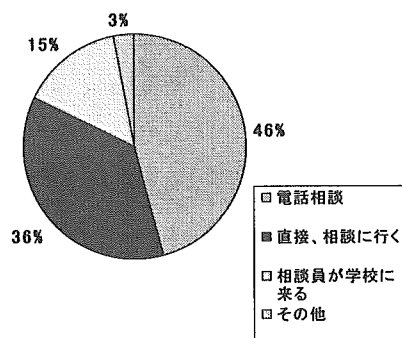
希望する→69.7%、

希望しない→27.2%

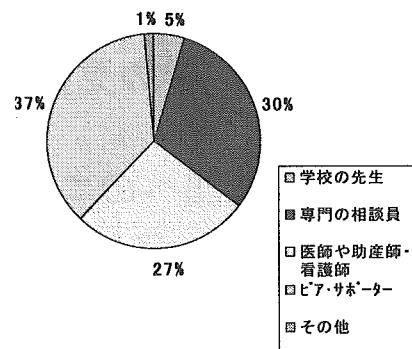


4. 性の相談室に対するニーズ

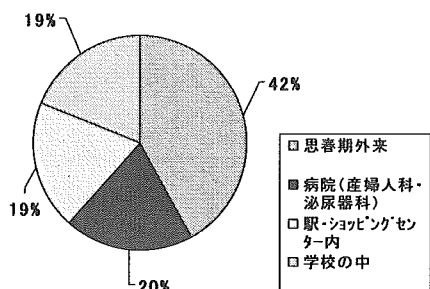
1)どんな相談方法がいいですか？



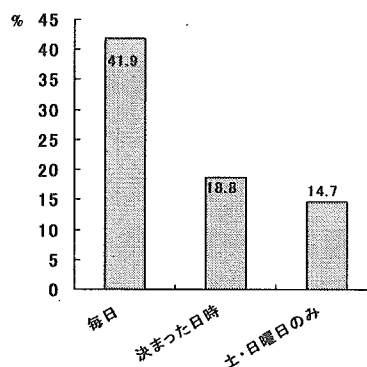
2)相談員はどんな人がいいですか？



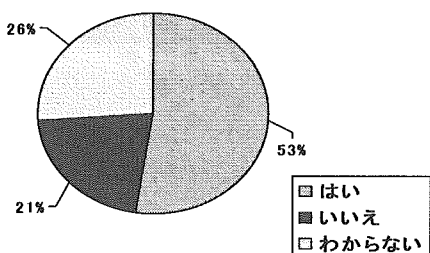
3)相談場所がどこにあるといいですか？



4)相談室の開催日はいつがいいですか？



5)ピア・サポーターによる性の講座受講の希望



まとめ

1. 性について学んだこと・知りたいことの内容についてのギャップが大きく、中・高校生対象の性教育内容の見直しが必要と思われる。
2. 相談機関へのニーズが高く、電話相談やピア・サポーターなどによる性の問題に対しての相談機関の整備が急務であることが示唆される。

青森県の10代男女の性に関する 悩み・意見について —自由記述内容の分析結果から—

高橋佳子¹⁾、益田早苗¹⁾、佐藤愛¹⁾、中村由美子¹⁾、
新道幸恵¹⁾、玉熊和子²⁾、長澤一麿³⁾、
1) 青森県立保健大学、2) 秋田看護福祉大学、
3) 青森県総合健診センター

I. はじめに

ここ数年、青森県内における10代の人工妊娠中絶実施率は減少傾向にあるが、全国に比べるとまだまだ高い。そこで、10代の女性の人工妊娠中絶を減少させるための対策を検討するために、10代男女の性に関する調査を行った。今回は、性に関する悩みや意見についての自由記述の内容を中心に分析検討したので、その結果を報告する。

II. 目的

青森県内の10代男女の性に関する調査の自由記述内容をもとに、10代男女の性に関する悩みや意見を把握することを目的とした。

III. 研究方法

1. 対象：青森県内の10代男女
2. 方法：自己記述式質問紙(選択および自由記述式)を青森県内4市の街頭で直接配布し、郵送にて回収した。
3. 期間：平成15年12月28日～平成16年2月15日
4. 内容：性に関する悩みや意見
5. 分析：内容分析の方法を用いて要素を抽出しカテゴリー化を行った。

(本研究は厚生労働科学研究費の助成を受け、平成15年度から行っている研究課題「10代の女性の人工妊娠中絶減少にむけての支援モデルの構築」の一部である。)

IV. 結果

1. 回収数：320部(配布数 1,250部)、回収率:25.6%、有効回答率98.1%
2. 分析対象：74人(自由記述質問への回答者)
自由記述の回答率：23.6%(74人/314人)
3. 対象属性：男子 15人(20.3%)、女子 59人(79.7%)
平均年齢15.7(±2.5)歳
男子の自由記述回答率：37.5%(15人/40人)
女子の自由記述回答率：21.5%(59人/274人)
4. 性交経験の有無：あり 32人(43.2%)、なし 42人(56.8%)
(男子10人・女子22人) (男子5人・女子37人)
性交経験あり群(以下、経験あり群)の自由記述回答率：27.6%(32人/116人)
性交経験なし群(以下、経験なし群)の自由記述回答率：21.2%(42人/198人)
5. 性に関する悩みや意見の自由記述内容
 - ・ 記述内容から168の要素が抽出され、11の категорияと43のサブカテゴリーが抽出された。
 - ・ カテゴリーは大きく2つの傾向に分けることができた。
A群：自分自身の性についての悩みや疑問、性体験についての内容
B群：客観的に見た10代の性事情、性教育やサポートシステムについての意見

抽出されたカテゴリーとサブカテゴリー(A群)

《 》：カテゴリー、< >：サブカテゴリー、()内は要素数

《性についての関心》(25) <恋愛・性体験の願望> <性のことをあまり知らない> <自分が遅れている> <性に興味がない> <セックスするかしないかの葛藤>	《自分自身の性体験》(15) <性体験後の感情> <性体験後の心的外傷> <特殊な性体験> <セックスの経験がない>
《性のことについての疑問・質問》(23) <セックスについて知りたい> <性的欲求・欲求不満について知りたい> <マスターベーションについて知りたい> <避妊法について知りたい> <月経について知りたい> <妊娠について知りたい>	《セックスに伴う悩み》(13) <性感染症の不安> <不感症についての悩み> <セックス後の妊娠の不安>
	《身体の悩み》(8) <月経不順についての悩み> <性器についての悩み>
	《人間関係の悩み》(7) <女性の気持ち・付き合い方がわからない> <交際を親に打ち明けられない悩み> <恋愛の悩み>

抽出されたカテゴリーとサブカテゴリー(B群)

《 》:カテゴリー、< >:サブカテゴリー、()内は要素数

《性についての考え・意見》(26) <中絶はいけない> <性についての望ましい考え方> <避妊の必要性> <性を軽く考えることへの批判> <売春はいけない> <性に対する気持ちのプラスの変化> <理想と現実とのギャップ>	《周囲の性事情》(14) <セックス経験者が多い> <悩んでいる人がいる> <知識が少ない> <間違った判断> <STDが広がっている>
	《サポートシステムの要望》(12) <相談機関の要望> <病院の要望> <中絶するときの条件> <情報源への要望>
《性教育の現状・意見》(16) <性に関する教育のあり方> <性に関する学校教育の問題点>	《性同一性障害・同性愛についての認識》(9) <性同一性障害・同性愛の存在> <性同一性障害・同性愛への関心>

主なカテゴリー (A群)の内容

《性についての関心》

<恋愛・性体験の願望> ○『自分もやってみたいなあって思います(セックス)』 ●『早く本当に好きな人に出会って愛あるSexをしたい』 ▲『もっと多くの人とやりたい』
<性のことをあまり知らない> ○『「性」のことは、あまり知らない』 ○『下ネタとかやっぱいわからなくて』
<自分が遅れている> ○『自分おくれてる~!?って思っちゃいます』 ○『20代は遅いという感じがしてきてあせる』
<性に興味がない> ○『別にSEXしたくない』 ○『そういう話を友達からされるとひく』
<セックスするかしないかの葛藤> ○『妊娠とかなればイヤだし(セックスについて)』 ○『けっこう、なやんです(セックスについて)』

『 』は要素を示す

○ 経験なし群女子の回答

● 経験あり群女子の回答

△ 経験なし群男子の回答

▲ 経験あり群男子の回答

※経験あり群は『もっと多くの人とやりたい』、経験なし群は『自分もやってみたいなあって思う』等、セックス願望がみられた。

※経験なし群女子に、<性のことを知らないことや自分が遅れている><性に興味がない>等の記述がみられた。

- ・性についての関心が高く、周囲の影響を受け、焦っている若者像。
- ・一方で、関心が低く、性についてあまり知らない若者像。
- ・セックスを軽く考えている者の存在。

《性のことについての疑問・質問》

- <セックスについて知りたい>
 - 『SEXとはきもちいいのか?』
 - 『同じ年の人はSEXについてどう思っているのか知りたい』
 - 『Hって10代がすると犯罪なんですか?』
- <性的欲求・欲求不満について知りたい>
 - 『男は1度すると、どんどんしたがるのはどうしてか?』
 - 『どうして男子は女子よりも性的欲求が強いのか?』
 - △『何をやっても理性がおさえられなくなったらどうすればよいか?』
- <マスターベーションについて知りたい>
 - 『マスターベーションをすることはいけないことなんですか?』
 - ▲『シコシコすれば体力がなくなるのか?』
- <避妊法について知りたい>
 - 『外だしは避妊法なんですか?』
 - 『コンドームの他にも避妊法はあるのですか?』
- <月経について知りたい>
 - 『SEXとかじゃなくて生理のこととかをもっと知りたい』
- <妊娠について知りたい>
 - 『大人になったら妊娠とかもしなったらのために、妊娠のことなどをもっと知りたい』

※<セックスについて知りたい>は、経験なし群女子にのみみられた。

※<性的欲求・欲求不満について知りたい>は、性交経験の有無に関わらず女子の記述が多く、男子の性的欲求についての記述であった。

※<マスターベーションについて知りたい>は、男女にみられた。

※<避妊法について知りたい>は経験あり群女子のみにみられた。

・年齢的・発達段階的に性についての関心が高く、知りたがっている若者像

《自分自身の性体験》

- <性体験後の感情>
 - 『Sexしても何も楽しくない』
 - 『男の人は誰でもイイのかなあと感じてしまいます』
 - 『「性」ってムズかしいなあ』
 - ▲『イイものはイイただシンケンに』
 - ▲『やっぱりいいものはいい』
- <性体験後の心的外傷>
 - 『うわさになっている。(おかされて)』
 - △『トラウマというか何というか(同性とのオーラルセックス)』
 - △『実際誰にも相談できません(同性とのオーラルセックス)』
- <特殊な性体験>
 - 『おかされて』
 - △『男性とのオーラルセックスの経験ならあります』
- <セックスの経験がない>
 - 『私は経験がない』

※経験あり群が<性体験後の感情>を記述し、『やっぱりいいものはいい』や『セックスしても何も楽しくない』等と相反する反応がみられた。

※経験あり群女子は性交経験後、マイナスの印象をもち、経験あり群男子はセックス容認の傾向がみられた。

※特殊な性体験をし、悩んでいる者が男女にみられた。

・性交経験後、具体的な悩みを抱える若者像。

・セックスを軽く考えている者の存在。